資料３－１

歴史的景観の保全に関する検証事業

京都市歴史的景観の保全に関する検討会

第５回

資料３－１　景観重要建造物等の指定候補の事例（神社）

■神社の景観上の特徴

・境内地に緑が多い「社叢」
・境内地が公開されている
・景観を構成する要素　鳥居，玉垣，緑
・旗竿状の敷地もある

（事例）

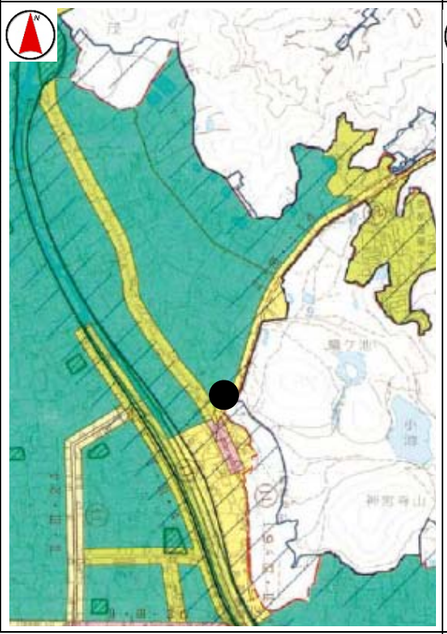
福丸大明神…… 1
総神社天満宮…… 2
貴船大明神…… 3
六請神社…… 4
石井神社…… 5
御霊神社…… 6
下御霊神社…… 7
北野神社御旅所…… 8
武信稲荷神社…… 9
若一神社…… 10
松尾大社御旅所…… 11
武御前神社…… 12
安井金毘羅宮安井神社… 13
新熊野神社…… 14
恵美須神社…… 15
剣神社 …… 16
若宮八幡宮…… 17
大将軍八神社…… 18
若宮神社 …… 19
龍田稲荷神社…… 20

景観重要建造物等の調査票

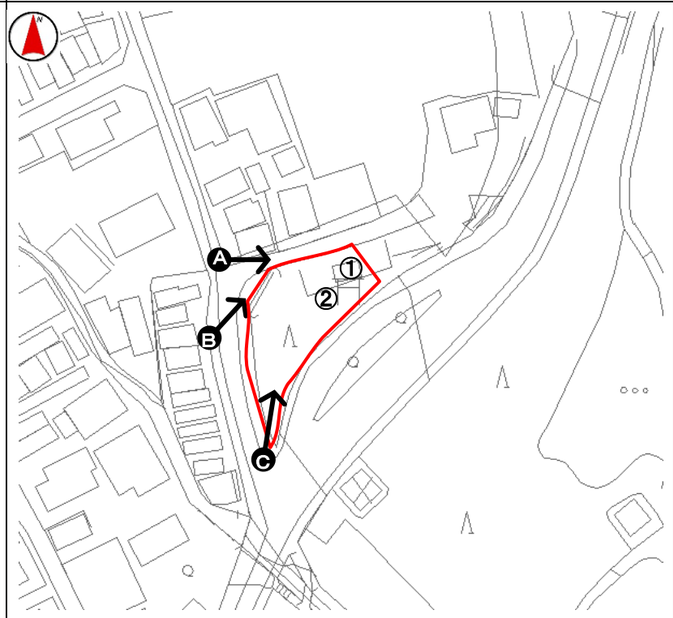
寺社 No.628（ID. 北 J045）	名称：福丸大明神	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 10 月 24 日

所　在　地	北区上賀茂舟着町	
敷地面積	165.3 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種住居地域
	防火・準防火	―
	高度地区	12m 第 2 種高度地区
	景観計画	―
	風致地区	風致地区第 5 種地域
系譜，歴史性（謂れ等）	創建・由緒等は不明。誰かの屋敷跡か。花や榊が供えられ，境内も綺麗に掃き清められており，信仰の篤いことが伺われる。 http://kaiyu.omiki.com/hukumaru/hukumaru.html　より	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿（正面），木造 1 階

②摂社　木造 1 階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

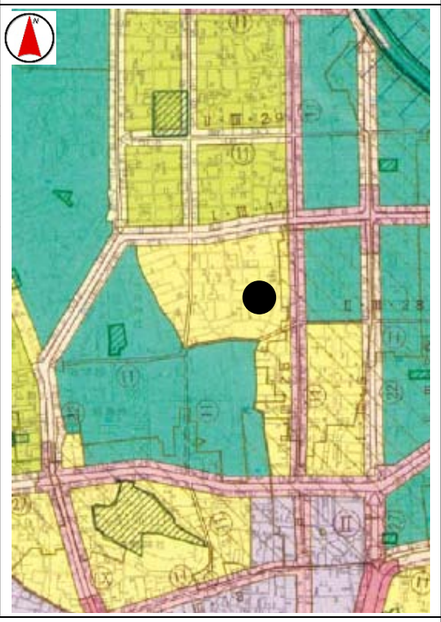
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
境内の建物，樹木は，良好に管理されている。境内敷地の一部には遊具が設置されている。	・賀茂別雷神社の北，柊野別れ（ひらぎのわかれ）の外れにあるこじんまりした神社である。周囲は樹木に覆われているが，朱色の鳥居や柵が鮮やかで目立つ。

景観重要建造物等の調査票

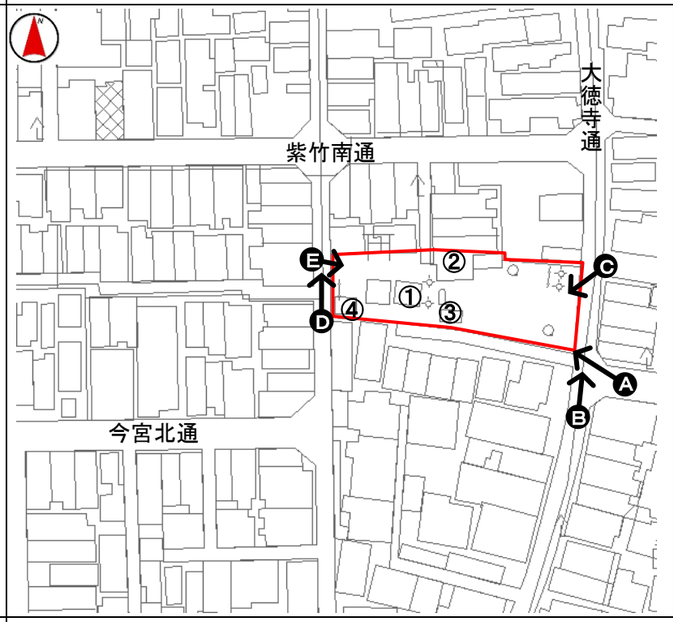
寺社 No.508（ID. 北 J037）	名称：総神社天満宮	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 10 月 24 日

所在地	北区紫竹西南町 46	
敷地面積	932.2 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種住居地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 2 種高度地区
	景観計画	山並み背景型建造物修景地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	山城国一之宮賀茂別雷神社 38 社の一つである。創祀年代は詳らかではないが，社僧の始まりは天武天皇白鳳年間と伝えられている。 http://kakitutei.gozaru.jp/kyoto05ma/14-9.html 参照	

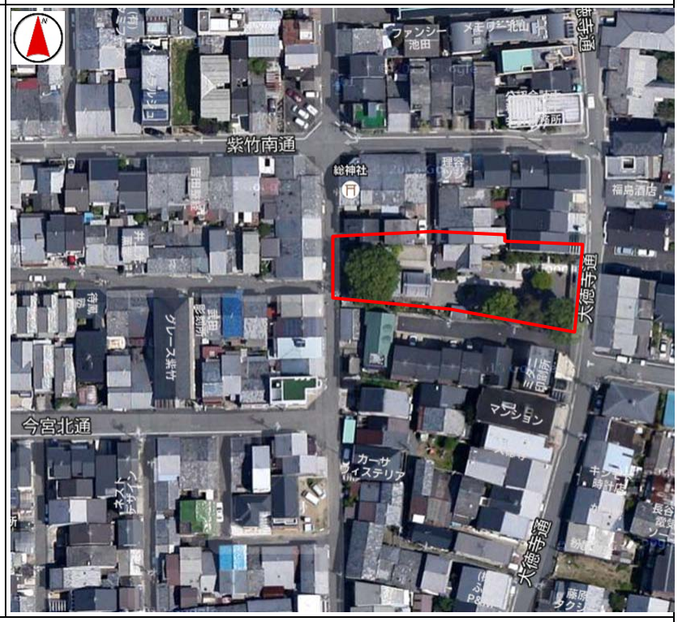
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿 木造 1 階

②社務所 木造 1 階

③手水舎 木造 1 階

④倉庫 木造 1 階

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

E

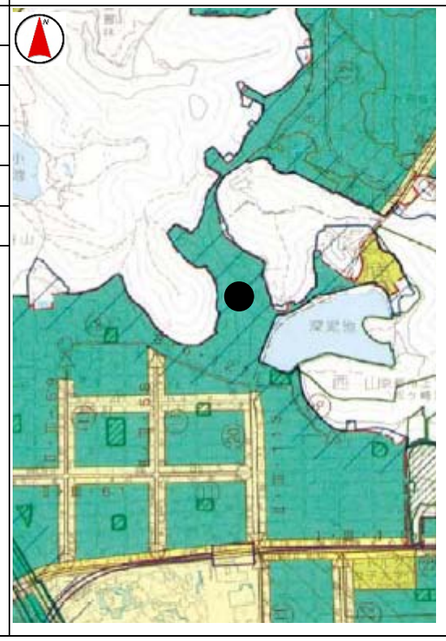
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
住宅地内に位置し，建物はいずれも古いが，周辺の氏子の方々に大切に維持管理されているのがうかがえる。	・古くからの住宅地と思われる地区内にある。境内敷地は小さいが，提灯や社殿，鳥居などの管理状態から氏子の信仰の厚さが伺え，周辺の町並みとも調和している。

景観重要建造物等の調査票

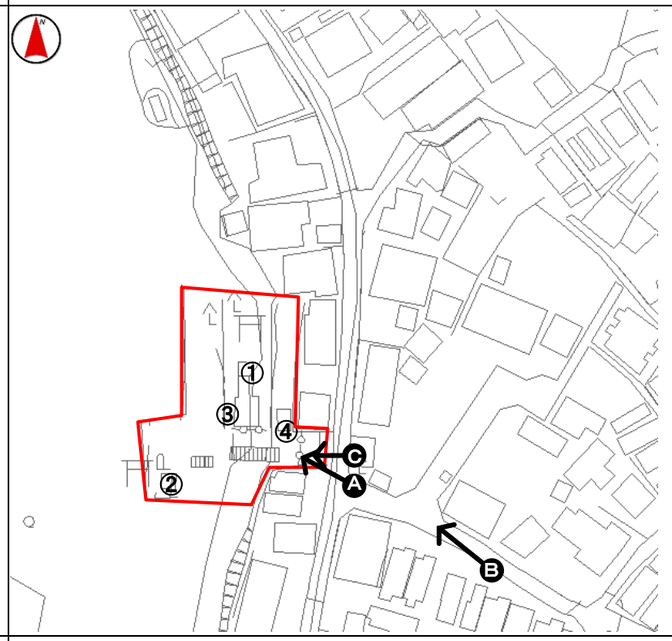
寺社 No.560（ID. 北 J043）	名称：貴船大明神	担当者：杉本 敬一	調査日：平成 26 年 10 月 24 日

所在地	北区上賀茂深泥池町	
敷地面積	645.3 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種低層住居専用地域
	防火・準防火	―
	高度地区	10m 高度地区
	景観計画	―
	風致地区	風致地区第 2 種地域
系譜，歴史性（謂れ等）	当神社の御発神は高靇神（たかおかみのかみ）といい，雨水を司る龍神で，古くから鞍馬山麓の貴船に鎮座せられる貴船神社の分社として，深泥池の農民によって，勧請したものである。 （現地石碑　由来　より） 祭神は鞍馬山の貴船神社本宮と同じく高 靇神（たかおかみのかみ）である。元々，この地は古くから賀茂別雷神社（上賀茂神社）の荘園であった。観光名所としても有名な鞍馬山貴船谷にある貴船神社（延喜式内社で元官幣中社）は，現在では独立しているが，明治時代まで賀茂別雷神社（上賀茂神社）の摂社という関係にあったため，この荘園地にも貴船神を勧請したのが今回，貴船神社のはじまりのようである。鎮座年代は不明で，鎌倉時代初期頃の鎮座と考えられていて，その後に幾多の盛衰はあったが，現在まで氏子によって護られてきた。鞍馬山麓の貴船神社と共に水難除をはじめ家内安全な，商売繁盛等のご利益あるとして地元の方が参拝している。 http://blogs.yahoo.co.jp/hiropi1600/53397007.html　参照	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿　木造 1 階

②摂社　木造 1 階

③手水舎　木造 1 階

④倉庫　1 階

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

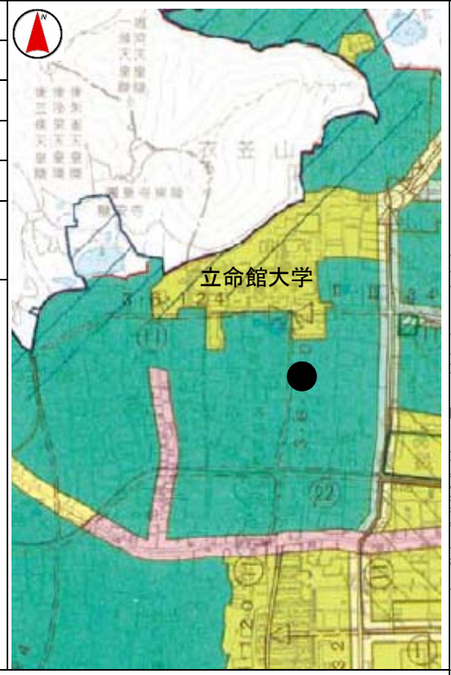
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・朱塗りが鮮やかである。祭事が近いようで，建物や草刈，樹木選定も丁寧に管理されている。	・狭い路地の少し奥まった所にあり，より近づかないとその存在は分からない。小社ではあるが，近づくと鮮やかな朱塗りの社が神々しい雰囲気を醸し出している。調査時は祭礼ののぼり旗や提灯飾りがあったので周囲の緑の中で神社全体が映えていた。

景観重要建造物等の調査票

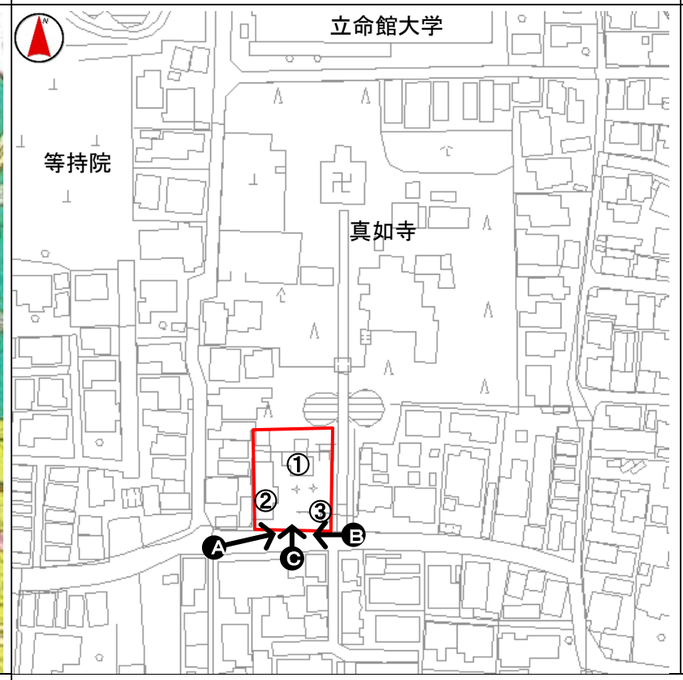
寺社 No.552（ID.北 J040）	名称：六請神社	担当者：辻	調査日：平成 26 年 9 月 10 日

所在地	北区等持院中町 53	
敷地面積	688.9 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種低層住居専用地域
	防火・準防火	―
	高度地区	10m高度地区
	景観計画	―
	風致地区	西山風致地区（第３種） 仁和寺・龍安寺周辺特別修景地域
系譜，歴史性（謂れ等）	延暦年中の創祀とされる。古来より衣笠山麓に鎮座しており，「衣笠御霊」や『山城名勝志』では「衣笠岳御霊」と呼ばれ，衣笠山に鎮まるこの地の開拓者たちの霊を祀ったことに始まる。開拓の祖神は「天照国照神」や「大国御魂神」と呼ばれ，天照国照がこの社の祭神に天照大神ら六柱を勧請して六請神と呼ばれた。	

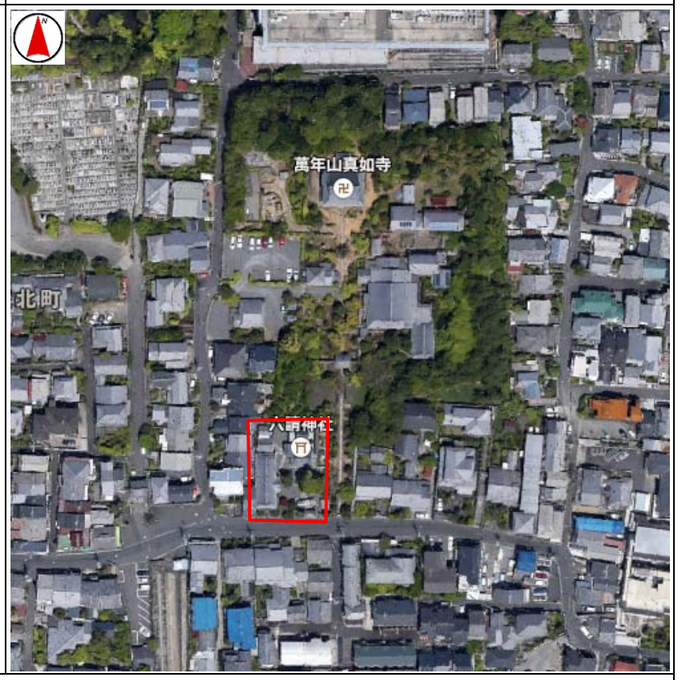
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①拝殿，木造，１階

②社務所，木造，１階

③手盤舎，木造，１階

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

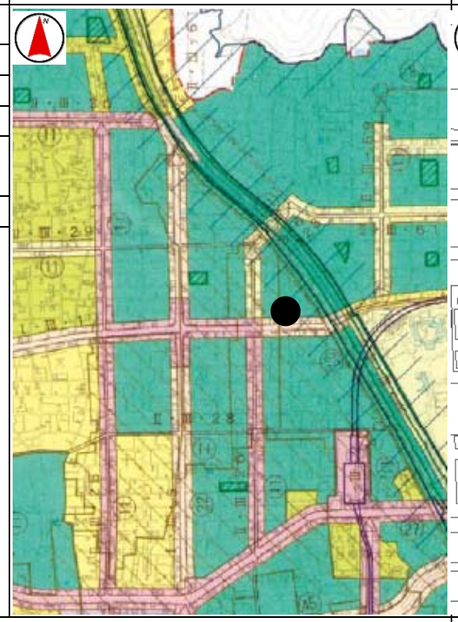
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
	・等持院山門と真如寺南門の間に立地。 ・周囲は低層住宅地。

景観重要建造物等の調査票

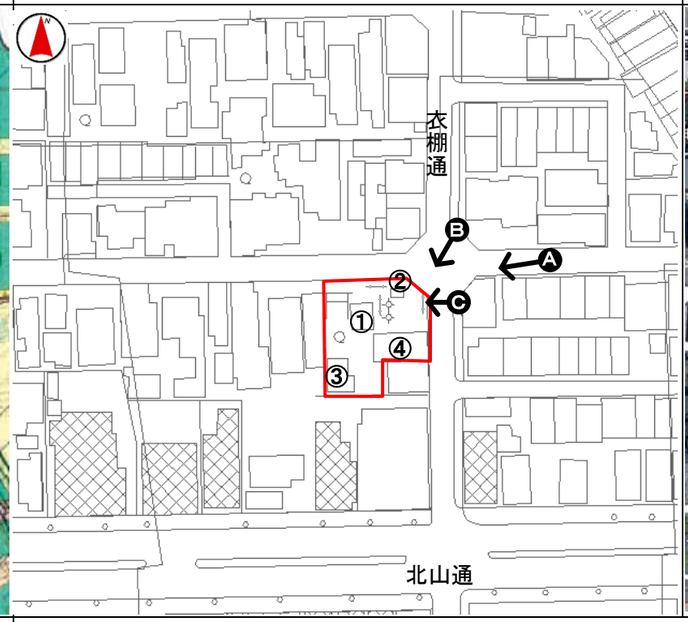
寺社 No.607（ID. 北 J050）	名称：石井神社	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 10 月 31 日

所在地	北区小山元町	
敷地面積	295.3 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種低層住居専用地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	10m 高度地区
	景観計画	山ろく型建造物修景地区（北部地区）
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	石井神社は，別名を石井稲荷神社といって宇迦之御魂大神，石井稲荷大神並びに五十三社を祭神とする比較的新しい神社のようである。 大正年間に伏見稲荷山の一の峯に石井稲荷大神の塚を創建したのが始まりで，石井稲荷大神（石井大神）と呼ぶようになった。昭和２年（1927），八木トメという女性が伏見稲荷一の峯より現在の地に勧請して遷座した。以来，地元の信者氏子によって小山元町の鎮守社として守られてきた。 本殿は昭和 2 年（1927）造営の流造神殿，拝殿と春日燈籠は賀陽宮家の寄進によるものである。また境内に祀られる叢雲明神は，賀陽家の守護神で宮家邸内より遷座した。境内には末社として叢雲明神，寿賀明神，石生大神，白良仙・天龍王，またこの地に勧請した八木家の八木家祖霊社がある。 http://blogs.yahoo.co.jp/hiropi1600/53397007.html	

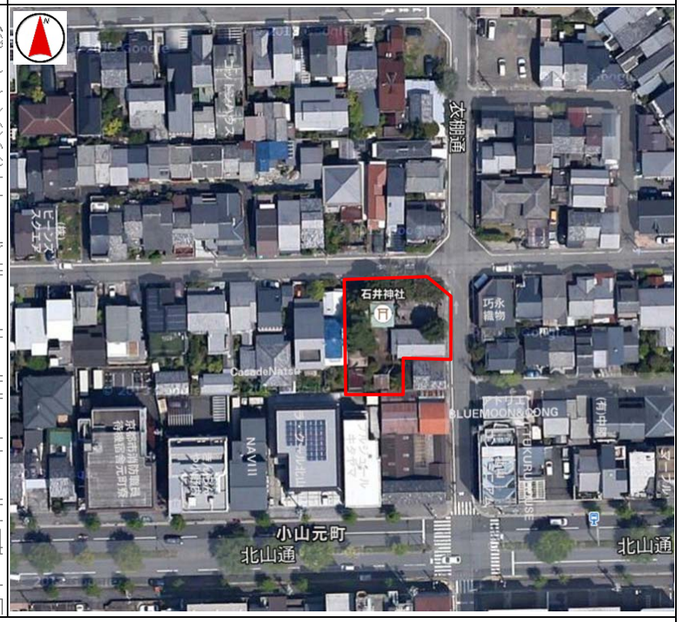
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿　木造１階

②手水舎　木造１階

③摂社　木造１階

④社務所　木造１階

⑤

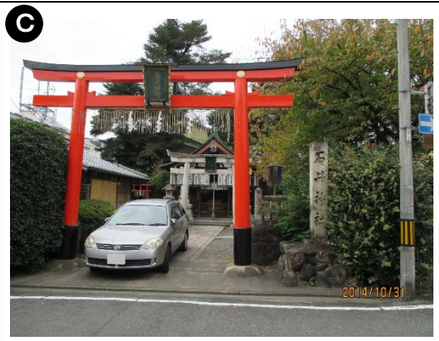
⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C



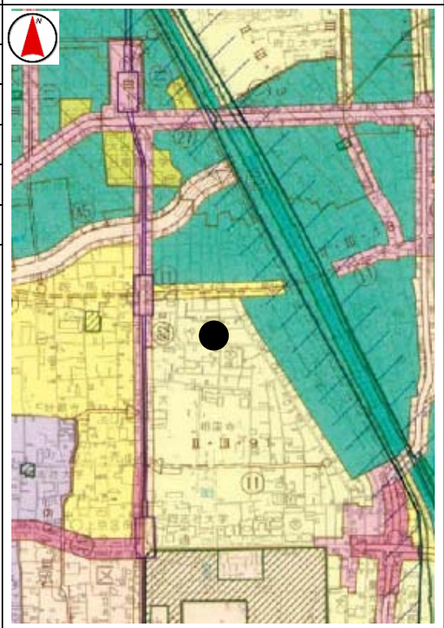
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
住宅地内にあり，建物や樹木など氏子に大切に管理されているのが伺える。	・社叢林が遠くから視認できる。近づくと朱色の鳥居が鮮やかである。住宅地の町並み景観の中で一段と緑量が多く，潤いを与えている。

景観重要建造物等の調査票

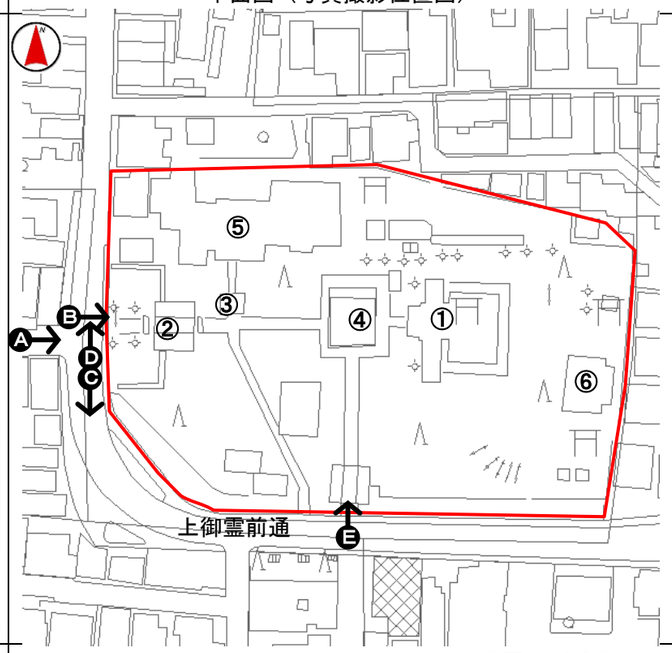
寺社 No.047（ID. 上 J004）	名称：御霊神社	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 12 月 2 日

所在地	上京区上御霊前烏丸東入上御霊竪 494	
敷地面積	11227.3 ㎡	
現適用制度	用途地域	第二種中高層住居専用地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 1 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	祭神として崇道天皇，吉備真備，橘逸勢をはじめ，13 柱の神霊を祀る。 この地には，はじめ付近住民の氏寺として創建された上出雲寺があったが，平安京遷都に際し，桓武天皇の勅願により王城守護の神として，奈良時代・平安時代初期に不運のうちに無くなった 8 柱の神霊が祀られたといわれ，その後，明治天皇の御願により祭神 5 社が増祀され，現在に至っている。 平安時代には，天変地異や疫病流行は怨霊のたたりであるとする御霊信仰が盛んで，疫病除けの霊社として名を広めた。朝廷から庶民に至るまで広く信仰を集めたが，特に御所の守護神として皇室の崇敬が厚く，神輿や牛車等，皇室からの寄付品を多数蔵している。 本殿は，享保 18 年に下賜された賢所御殿を復元したものと言われる。境内は，応仁の乱の発端となった場所としても知られる。　境内解説版参考	

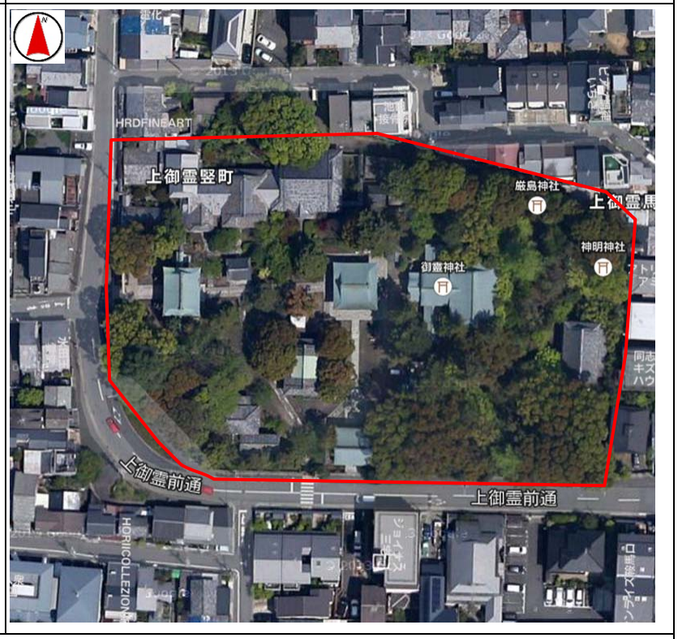
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿　木造 1 階

②楼門（西門）

③手水舎

④拝殿

⑤社務所

⑥宝蔵庫

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

E

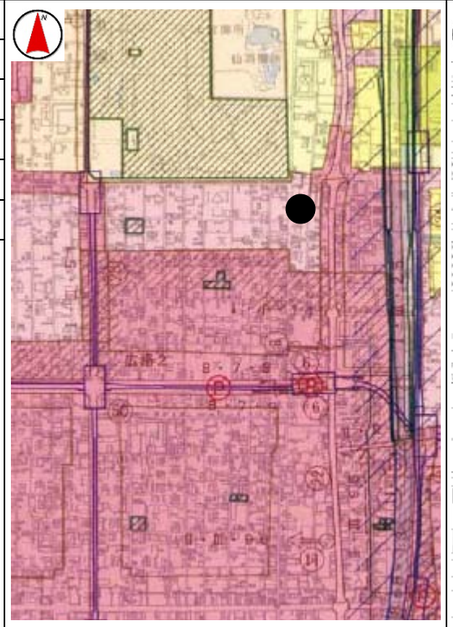
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
天皇家に縁が深いため，日常的に参拝者があるようだ。敷地内の建物や樹木の管理状態は良好である。境内敷地は広く，境内社が多い。	・周辺は，閑静な住宅地である。境内には大木が生い茂り、緑が多いため，遠方からでもその存在を確認することができる。

景観重要建造物等の調査票

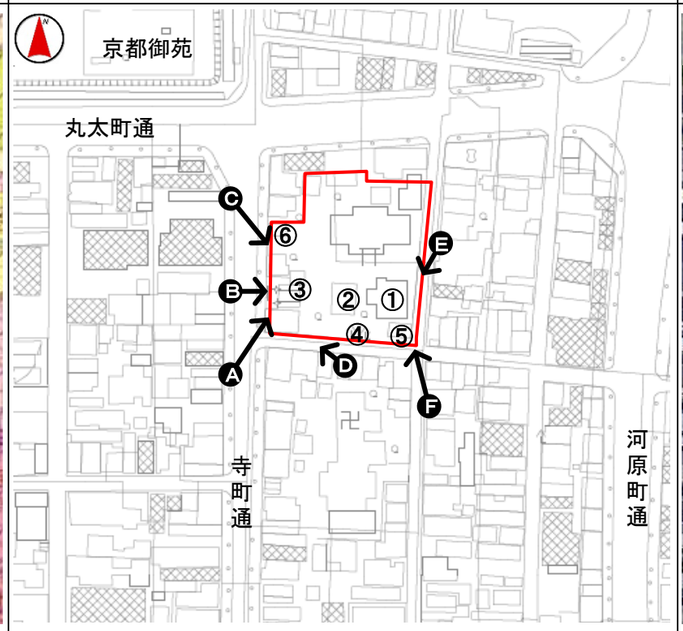
寺社 No.222（ID.上 J018）	名称：下御霊神社	担当者：辻，長谷川	調査日：平成 26 年 7 月 31 日

所在地	上京区新烏丸通丸太町下る新富町 324	
敷地面積	3,074.1 ㎡（※近代化遺産は GIS 計測）	
現適用制度	用途地域	近隣商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m第３・４種高度地区
	景観計画	歴史遺産型美観地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	平安時代に冤罪を被り亡くなった貴人の怨霊を御霊として，その当時から祀ってきた神社。疫病災厄を退散し，朝廷と都を守る神社として崇敬される。初めは京の郊外でそれぞれの御霊が祀られていたが，後にまとめて八所御霊としてお祀りする事で御神徳が高まると考えられ，当社が鎮座されたものと思われる。本殿・幣殿・拝所・南北廊・拝殿は市指定有形文化財。寛政３年(1791)に移建された。	

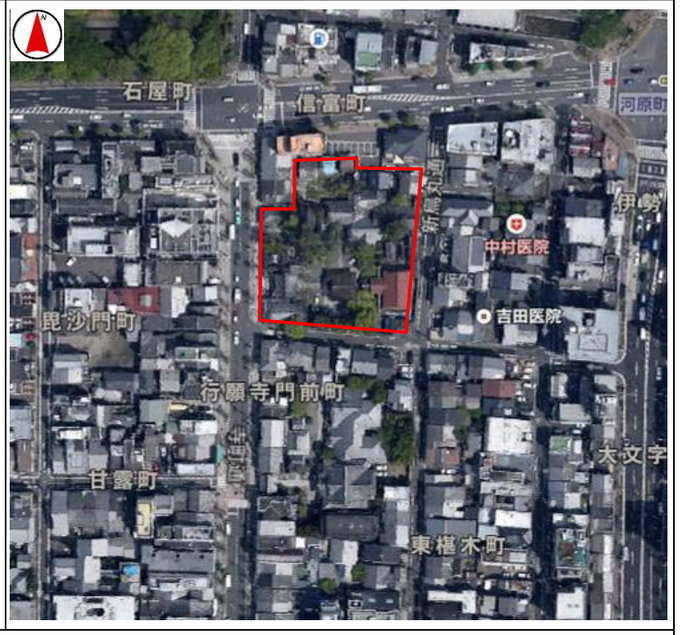
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿・幣殿，木造，１階

②拝殿，木造，１階

③手水舎・表門，木造，１階

④末社，木造，１階

⑤神輿庫，木造，１階

⑥倉庫・店舗，木造，１階

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

E

F

建物個々で気の付いた点

・神輿庫（天明の大火の際に類焼を免れて現存する）や末社の損傷が目立つ（④，⑤）。土塀の内側からの応急処置も見られる（⑤）。
・倉庫（敷地北西）の一角は店舗に改装されて利用される（⑥）。

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

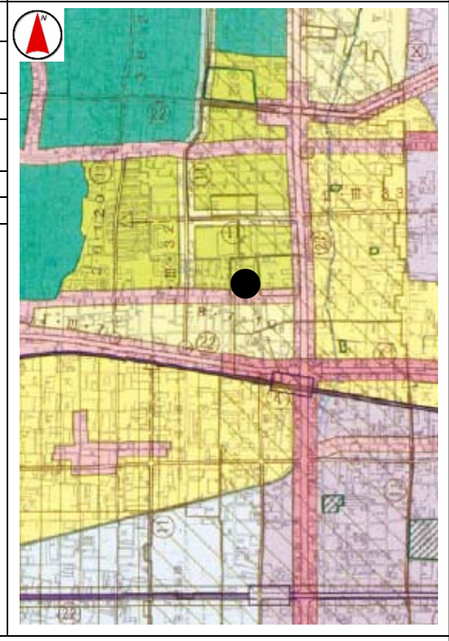
・寺町通に面してはある程度良好に保たれているが，河原町通への通りや敷地東側の通りでは，土塀の損傷等が見られる。
・土塀や本殿の修復に向け，本殿前に「社殿等修復事業御奉賛のお願い（１口千円）」の看板が設置されている。
・５月の還幸祭，８月の例祭などが盛大に行われる。

景観重要建造物等の調査票

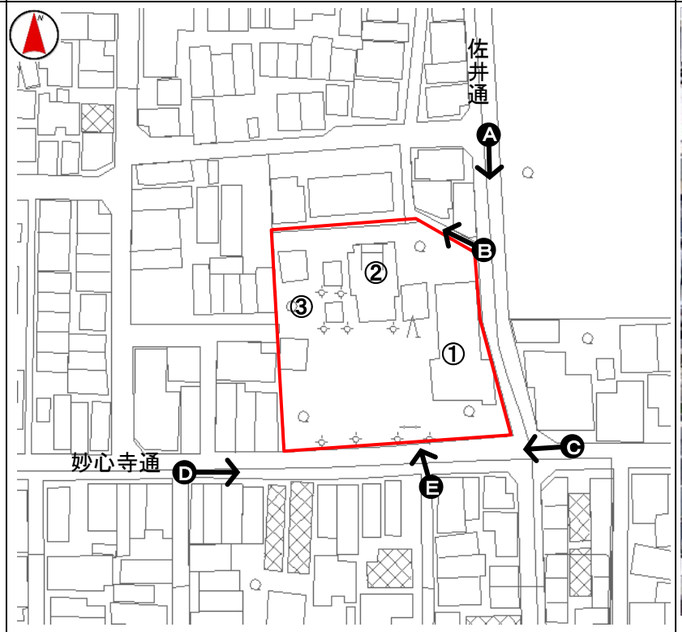
寺社 No.284（ID. 中 J009）	名称：北野神社御旅所	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 11 月 14 日

所在地	中京区　西ノ京御輿岡町	
敷地面積	2491.1 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種中高層住居専用地域 近隣商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 1 種高度地区 15m 第 3 種高度地区
	景観計画	山並み背景型建造物修景地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	お神輿を担いで神様が巡幸する際，一時的に神輿を置いておく御旅所。 北野天満宮の創建以前，この御旅所の一帯は，古くは「神楽岡（かぐらおか）」と呼ばれる大きな森林地帯で，鎮守の神として，早くから大巳貴命と少彦名命の二神が祀られていたと伝えられている。 その後，平安時代の天暦元年（947），北野の地に天満宮が創建され，初めてこの場所に神輿が渡御したことによって御旅所と定められ，地名も「御輿岡（みこしがおか）」と改められたということである。 こうして，この地にあった鎮守社も，菅原大神（菅原道真公・天神）を合祀して，御輿岡神社と呼ばれる北野天満宮の境外末社となったと伝えられている。 http://blogs.yahoo.co.jp/hiropi1600/56751620.html 参考 http://kyoto.taishoro.com/2013/01/post_290.html 参考	

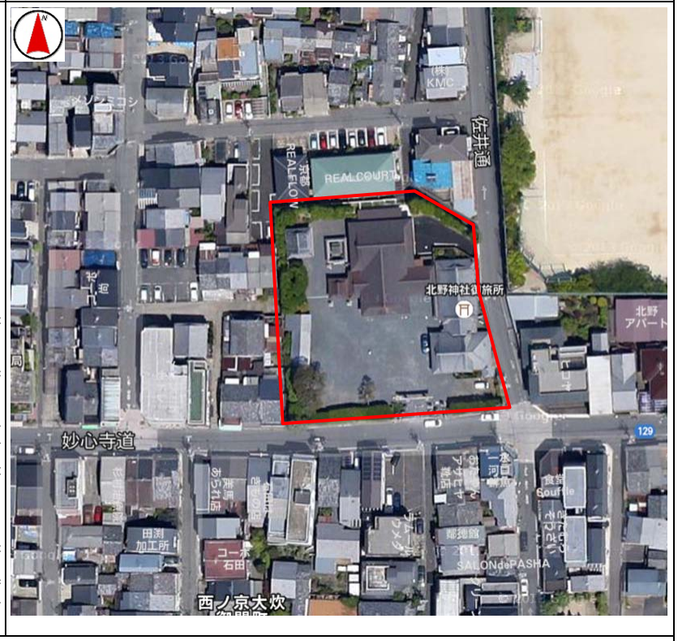
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①北野神社御旅所　木造 1 階

②御輿岡神社　木造 1 階

③倉庫，摂社　木造

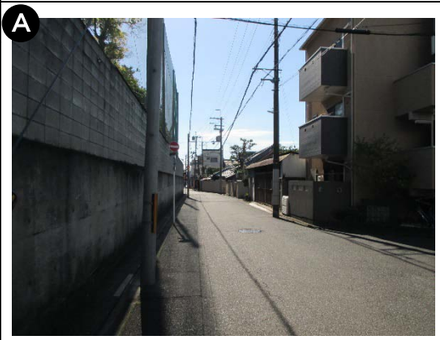
④

⑤

⑥

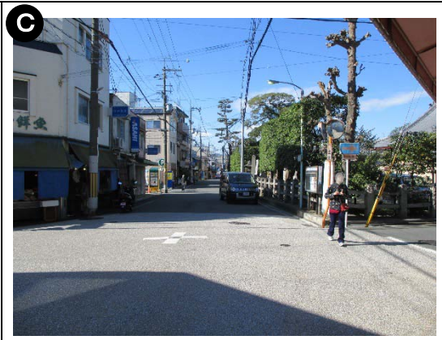
建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A



B

C



D

E

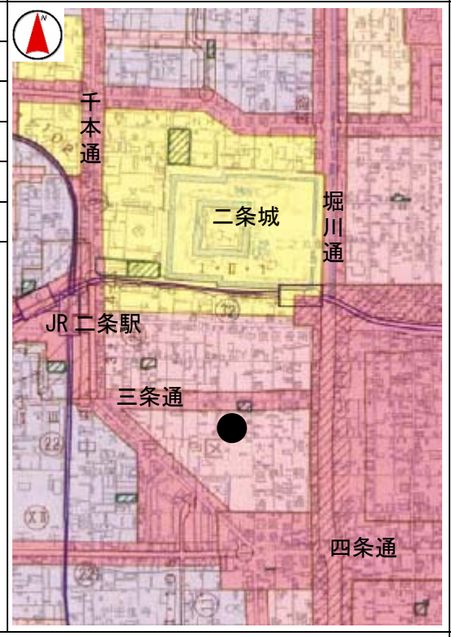
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
境内内は，良好に維持管理されている。境内南西に凛として立っているクロガネモチの大木は京都市保存樹に指定されている。	・周辺は西大路通から西に少し入った住商混合地である。広い境内と大木により，比較的遠くからでもその存在を確認することができる。特に違和感はない。

景観重要建造物等の調査票

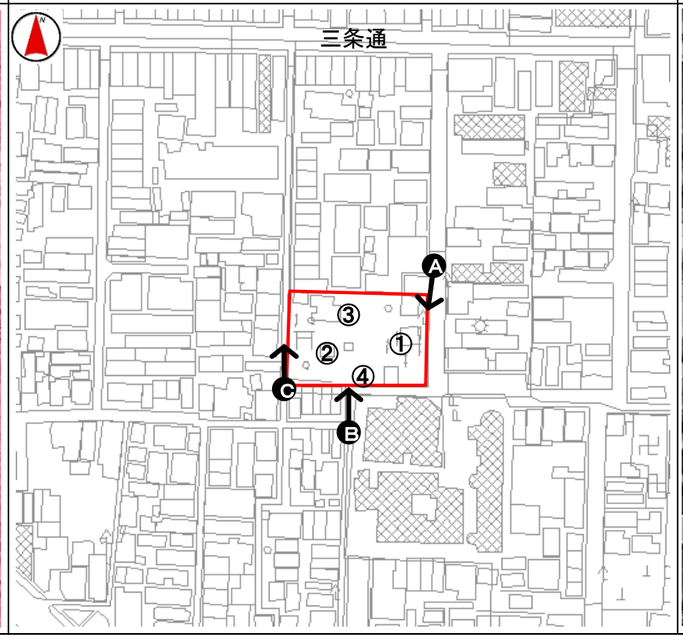
寺社 No.427（ID.中 J007）	名称：武信稲荷神社	担当者：辻	調査日：平成 26 年 9 月 12 日

所　在　地	中京区三条大宮西入二筋目下	
敷地面積	1,395.3 ㎡	
現適用制度	用途地域	近隣商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m第３種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	平安時代の初期，清和天皇貞観元年（859年）２月，西三条大臣といわれた右大臣左近衛大将藤原良相（ふじわらのよしすけ）公によって創祀された御社。創祀された藤原良相公が長として一族の名付けをされていたことから，名付け・命名に所縁の神社として知られる。 敷地内のエノキ１本は，市指定の天然記念物。	

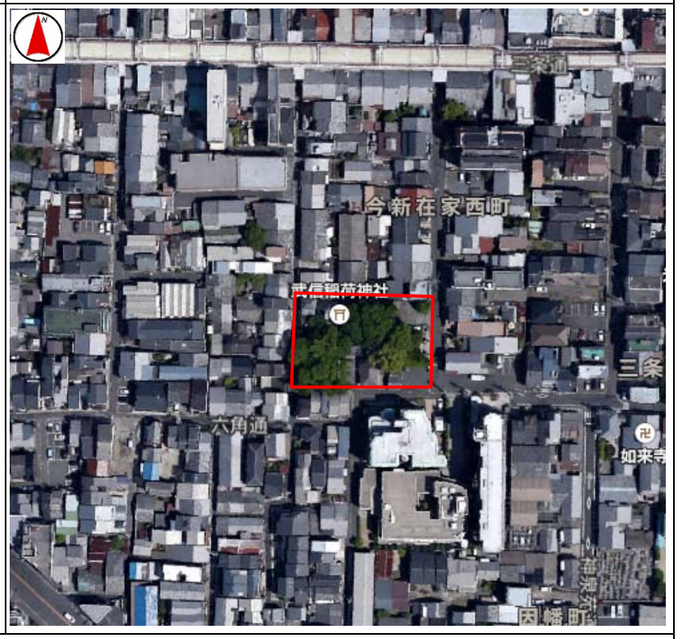
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿，木造，１階

②拝殿，木造，１階

③手水社，木造，１階

④参集所

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・参集所が新築。	・参集所の建替え，御神木周辺の参道の補修等は完了したが，社務所屋根，参道，絵馬堂等の補修事業は継続予定。 ・敷地南側には７階建のマンションが立地。見下ろされる感あり。

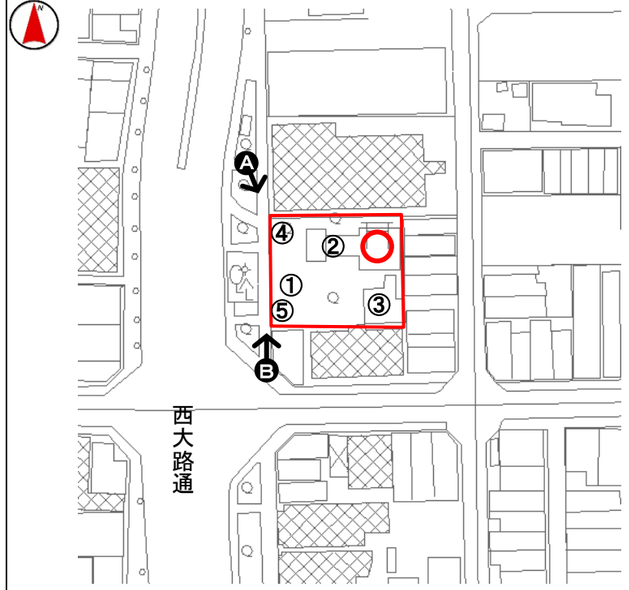
景観重要建造物等の調査票

寺社 No.540（ID. 下 J009 ）	名称：若一神社	担当者：山田	調査日：平成 26 年 12 月 8 日

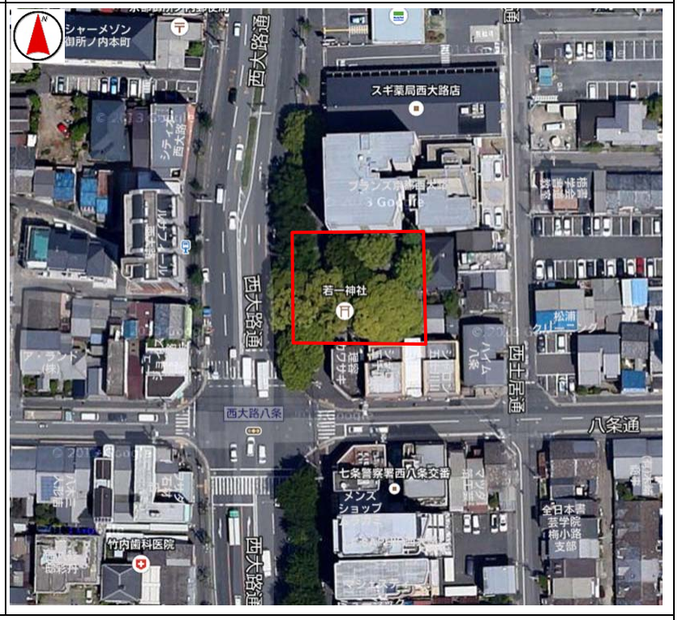
所在地	下京区七条御所ノ内本町 98	
敷地面積	768.9 ㎡	
現適用制度	用途地域	商業地域
	防火・準防火	防火地域・準防火地域
	高度地区	25m 高度地区
	景観計画	沿道型美観地区（都心部幹線地区）
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	平安末期平清盛がここに別邸を建て「西八条殿」と称し，紀州熊野の若一王子の御霊を祭ったのが始まり。以後清盛の勢威がのびたというので開運出世の神として崇められる。社前の清盛手植の大楠がシンボル。11 月 10 日例祭，火焚神事がある。 建立：1166（仁安元年）	

位置図（都市計画図）

平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①手水舎，木造，１階

②本殿，木造，１階

③社務所，木造，１階

④末社，木造，１階

⑤末社，木造，１階

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

建物個々で気の付いた点

・本殿，社務所については，改修済み。

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

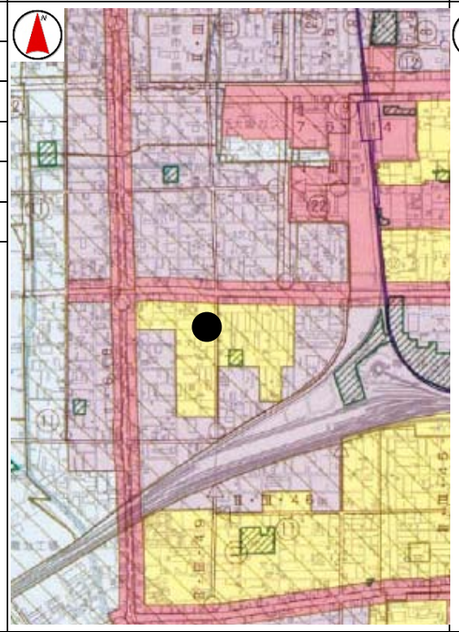
・鳥居前の石垣内にある楠の緑の大木が，西大路通の景観を引き立たせている。
・敷地内に吊り下げられている提灯と玉垣が，神社の建物と調和し，厳粛な雰囲気を醸し出している。

景観重要建造物等の調査票

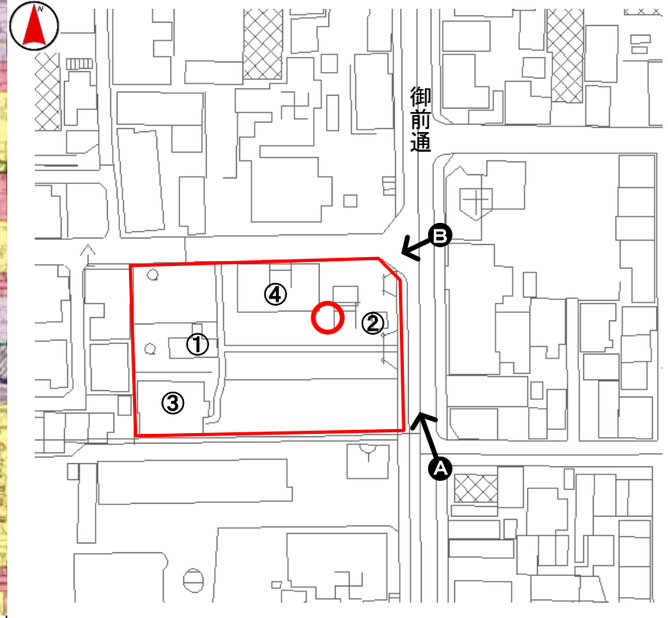
寺社 No.294（ID. 下 J007 ）	名称：松尾大社御旅所	担当者：山田	調査日：平成 26 年 12 月 8 日

所在地	下京区西七条南中野町 81	
敷地面積	2399.8 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種住居地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	20m 第 2 種高度地区
	景観計画	市街地型美観形成地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	御祭神は松尾大神。 松尾祭の神輿の御旅所。平安時代末期の史料にすでに記されているが，創建の詳細は不明。 江戸時代までは二百余石の朱印地が与えられていたという。かつては西七条地区に三ヶ所の御旅所があったが，明治に入り，現在地の一ヶ所に定められた。	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿，木造，１階

②手水舎，木造，１階

③社務所，木造，１階

④神輿庫，RC 造，１階

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・鳥居，玉垣，建物，樹木，敷き砂利については，状態良く維持・管理されている。	・朱色の鳥居，灯篭，玉垣が、周辺の町並みと調和している。 ・鳥居横の御神木上部の枝木が伐採されている。

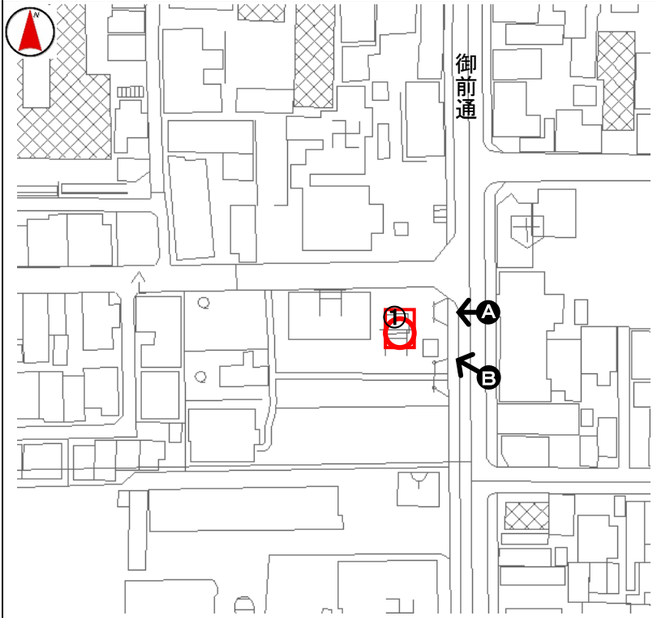
景観重要建造物等の調査票

寺社 No.627（ID. 下 J037 ）	名称：武御前社	担当者：山田	調査日：平成 26 年 12 月 8 日

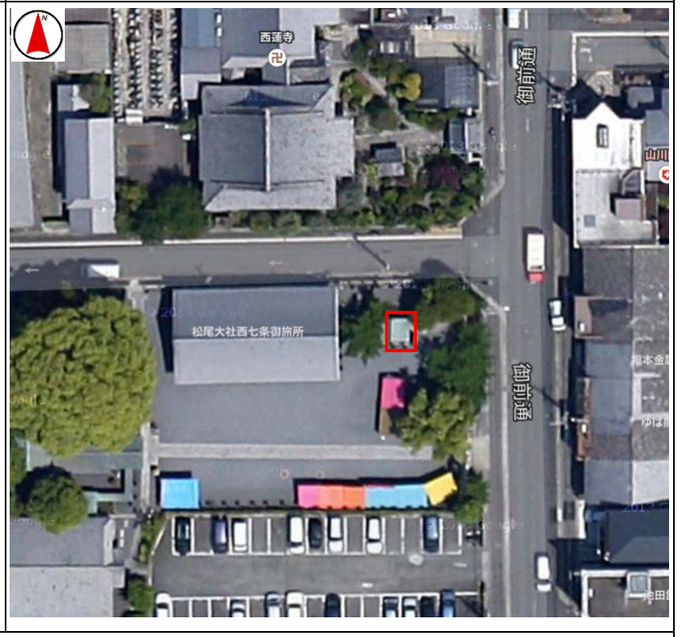
所　在　地	下京区西七条南中野町	
敷 地 面 積	171.8 ㎡	
現適用制度	用途地域	第一種住居地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	20m 第 2 種高度地区
	景観計画	市街地型美観形成地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	武御前社の祭神は，武甕槌神（たけみかづちのかみ）。武甕槌神という神様は，神話では天照大神の命令を受けて，出雲の国に行き，大国主命の国譲りを見届けて高天原に還り，その様子を報告したという武神ということ。武御前社は，この旧西七条村（西七条）の産土の神（出生地の守り神）として古くから村人から信仰されてきたと伝えられ，また，神社に関する面白い風習があったとのこと。	

位置図（都市計画図）

平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①末社，木造，１階

②倉庫，コンクリート造，１階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

建物個々で気の付いた点

・建物は，きれいに維持・管理されている。

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

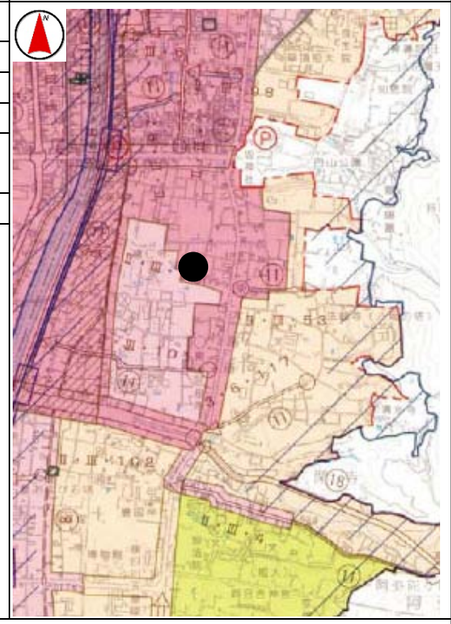
・松尾大社御旅所（寺社No.294）の敷地の一画に位置している。
・灯篭、玉垣が周辺の町並みと調和している。

景観重要建造物等の調査票

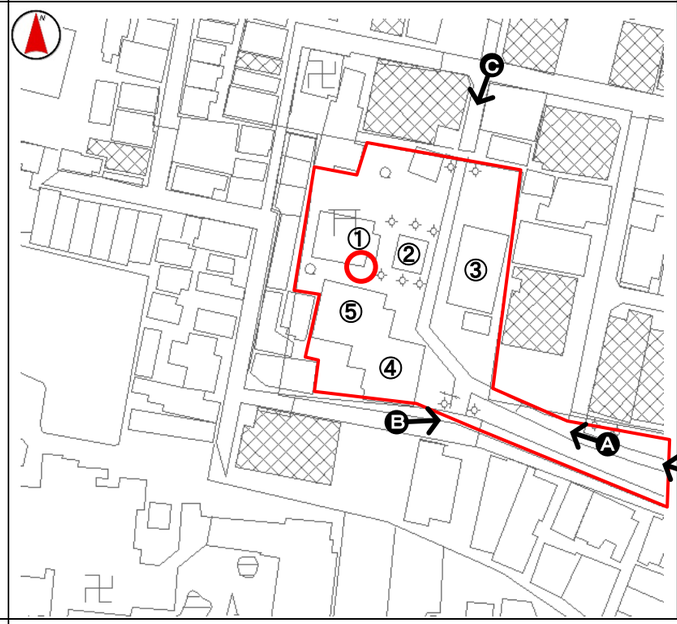
寺社 No.146（ID. 東 J025 ）	名称：安井金比羅宮安井神社	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 5 日

所　在　地	東山区東大路松原上る下弁天町 70	
敷地面積	4332.6　㎡	
現適用制度	用途地域	商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 4 種高度地区
	景観計画	歴史遺産型美観地区（一般地区）
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	第 38 代天智天皇の御代（668～671 年）に藤原鎌足が一堂を創建し，紫色の藤を植え藤寺と号して，家門の隆昌と子孫の長久を祈ったことに始まる。 元禄 8 年（1695 年）に太秦安井（京都市右京区）にあった蓮華光院が当地に移建され，その鎮守として崇徳天皇に加えて，讃岐の金刀比羅宮より勧請した大物主神と，源頼政公を祀ったことから「安井の金比羅さん」の名で知られるようになった。 明治維新の後，蓮華光院を廃して「安井神社」と改称し，更に「安井金比羅宮」と改め現在に至る。	

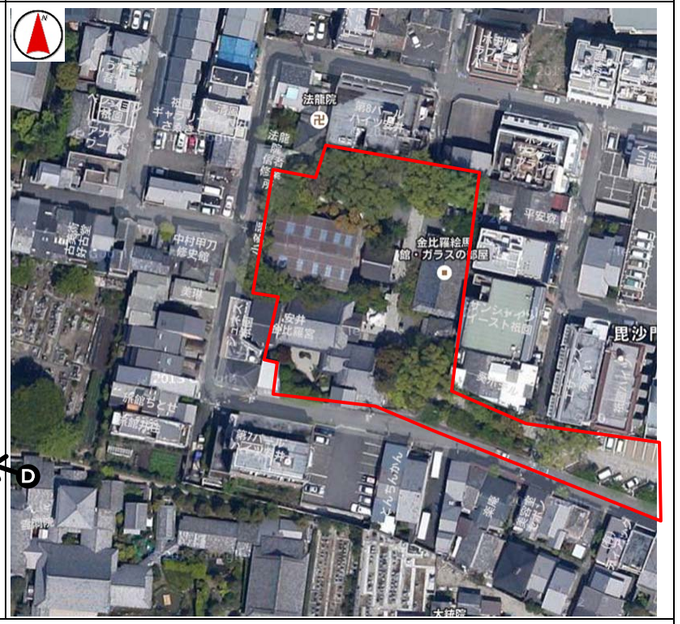
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿，木造，1 階

②拝殿，木造，1 階

③絵馬会館，木造，1 階

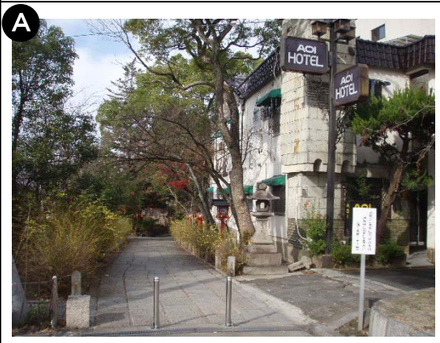
④社務所，木造，1 階

⑤金比羅会館，木造，1 階

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A



B

C

（東大路通より）

建物個々で気の付いた点

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

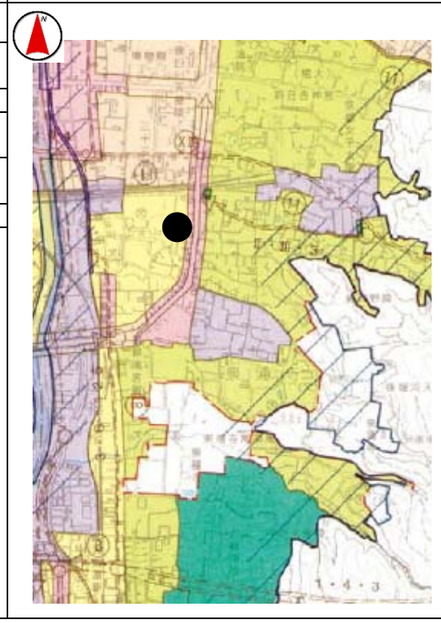
・周辺にホテルやマンションが建ち並んでいる。

景観重要建造物等の調査票

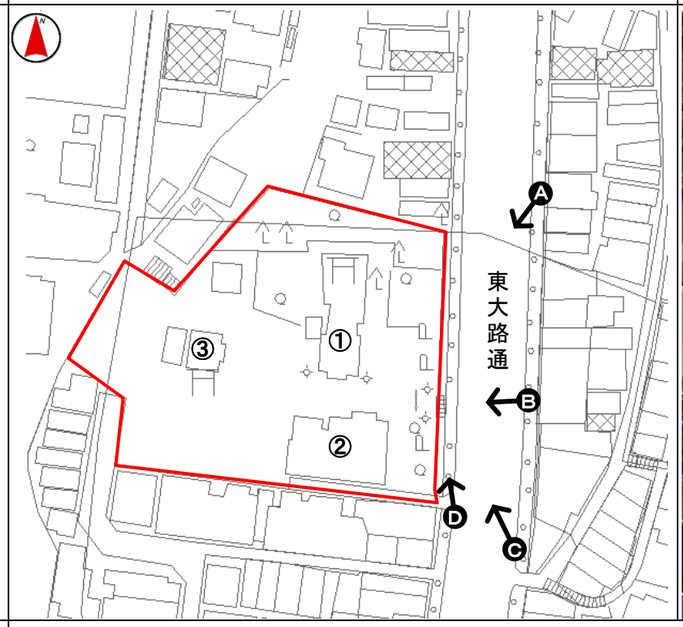
寺社 No.132（ID. 東 J016）	名称：新熊野神社	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 10 日

所在地	東山区今熊野椥ノ森町 42	
敷地面積	4723.9 ㎡	
現適用制度	用途地域	近隣商業地域 第一種住居地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 4 種高度地区 15m 第 2 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区 沿道型美観形成地区(幹線地区)
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	永暦元年（1160 年），後白河法皇によって熊野の新宮・別宮として創建された。その後 350 年間，繁栄を極めたが，応仁の乱以降，度々の戦火に見舞われ，一時は廃絶同様の状態になった。 江戸時代初期，後水尾天皇の中宮東福門院（３代将軍徳川家光の妹）で，現在の本殿は寛文 13 年（1663 年）聖護院宮道寛親王（後水尾上皇の皇子）によって修復された。 境内のクスノキは，樹齢は 900 年と推定されており，京都市指定天然記念物に指定されている。	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿，木造，１階

②社務所，木造，１階

③中之社，木造，１階

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

建物個々で気の付いた点

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

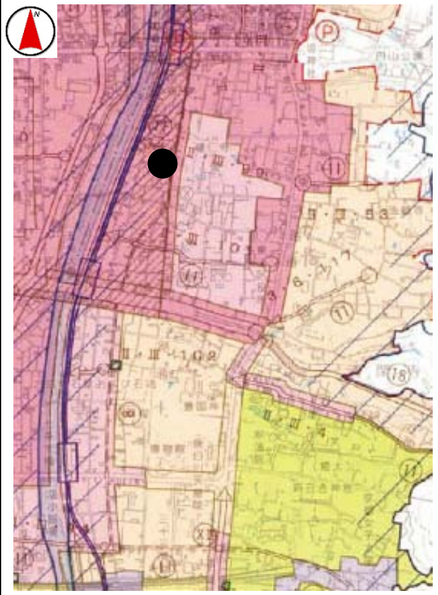
・東大路通に面した今熊野商店街にある。
・大きく枝を広げたクスノキは，遠くからも視認出来る。

景観重要建造物等の調査票

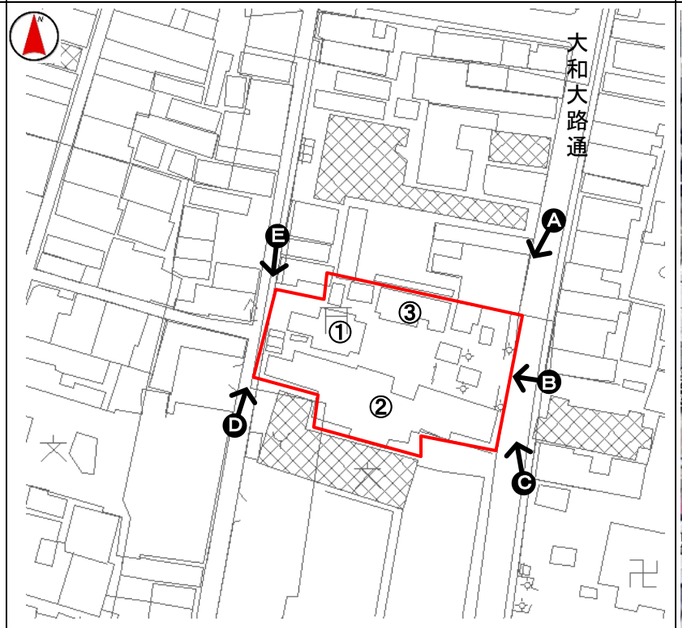
寺社 No.462（ID. 東 J072 ）	名称：恵美須神社	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 5 日

所　在　地	東山区大和大路通四条下る四丁目小松町 125	
敷地面積	1120.9　㎡	
現適用制度	用途地域	商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	12m 第 4 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	西宮・大阪今宮神社と並んで日本三大ゑびすと称され，「えべっさん」の名で親しまれている。 その起源は約 800 年前土御門天皇の建仁 2 年（1202 年）に禅の祖といわれる栄西禅師が建仁寺建立にあたり，その鎮守として最初に建てられた。	

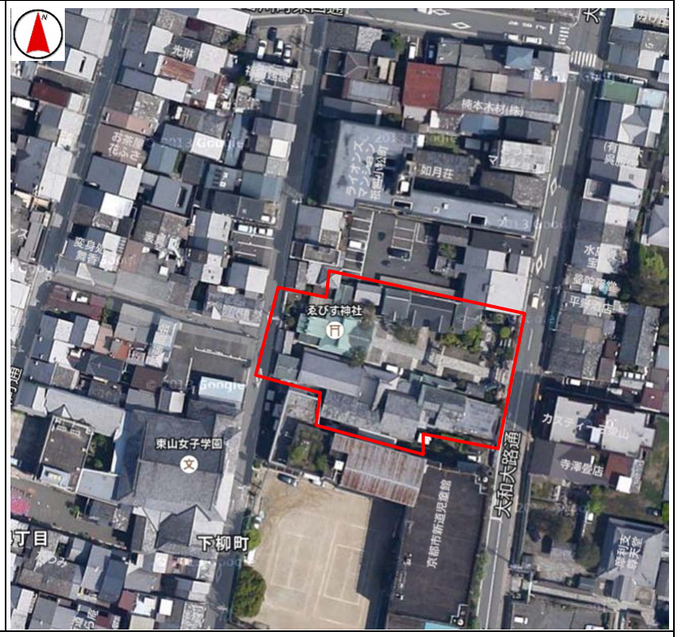
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿，木造，1 階

②社務所等，木造，1 階

③拝殿，木造，1 階

④　　，木造，1 階

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

E

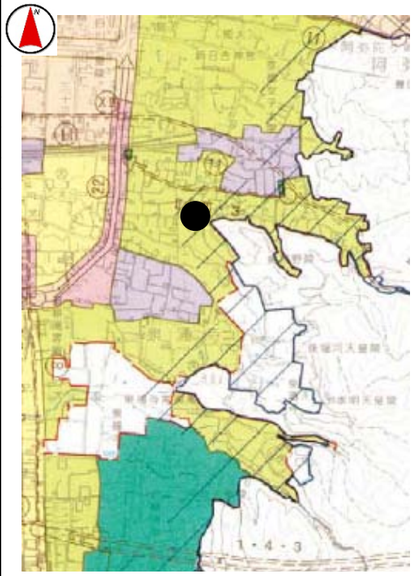
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
	・大和大路通添いにマンション，戸建住宅，小規模店舗が混在する中，朱色の柵が良く目立つ。

景観重要建造物等の調査票

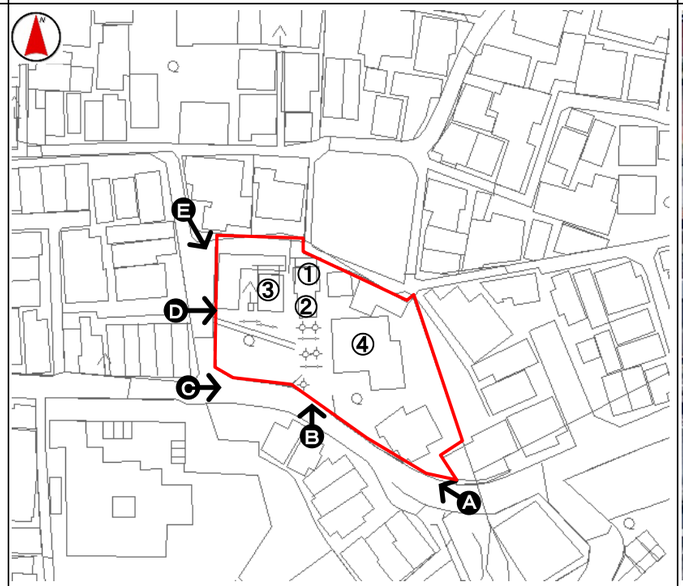
寺社 No.514（ID. 東 J059 ）	名称：剣神社	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 10 日

所　在　地	東山区今熊野剣宮町 13	
敷地面積	901.7　㎡	
現適用制度	用途地域	第一種中高層住居専用地域
	防火・準防火	―
	高度地区	15m 第 1 種高度地
	景観計画	山ろく型美観地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	瓊々杵命と白山姫命を祭る。中世は泉涌寺の守り神であったらしい。現在は今熊野一帯の産土神で，とくに子供の疳虫封じ祈願で知られる。天明，天保の火災で詳しい創建由緒は不明。	

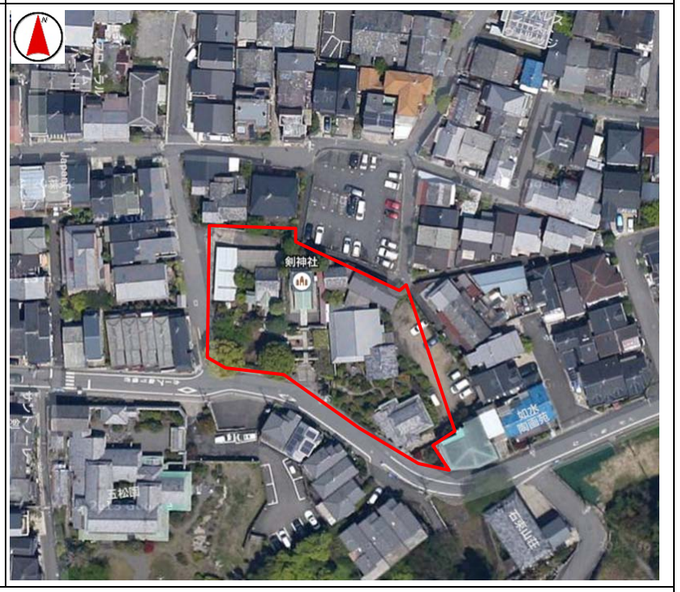
位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真



主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿，木造，1 階

②拝殿，木造，1 階

③朝日神明官，木造，1 階

④社務所，木造，1 階

⑤

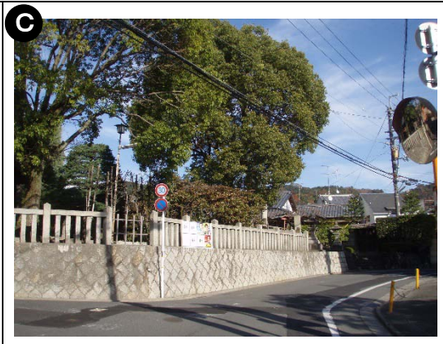
⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C



D

E

建物個々で気の付いた点

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

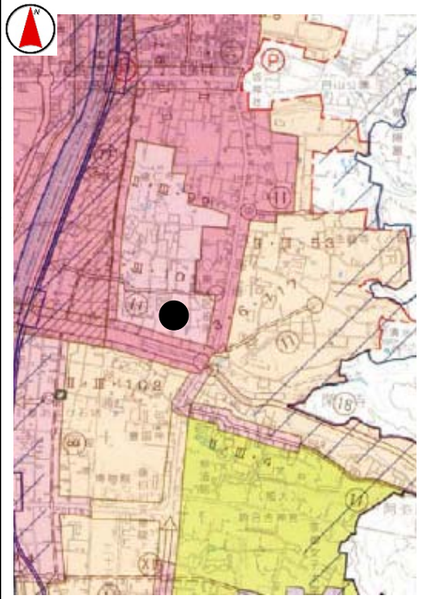
・緑の多い低層住宅地の中に立地している。
・境内の樹木も手入れが施されており，街並みに溶け込んでいる。

景観重要建造物等の調査票

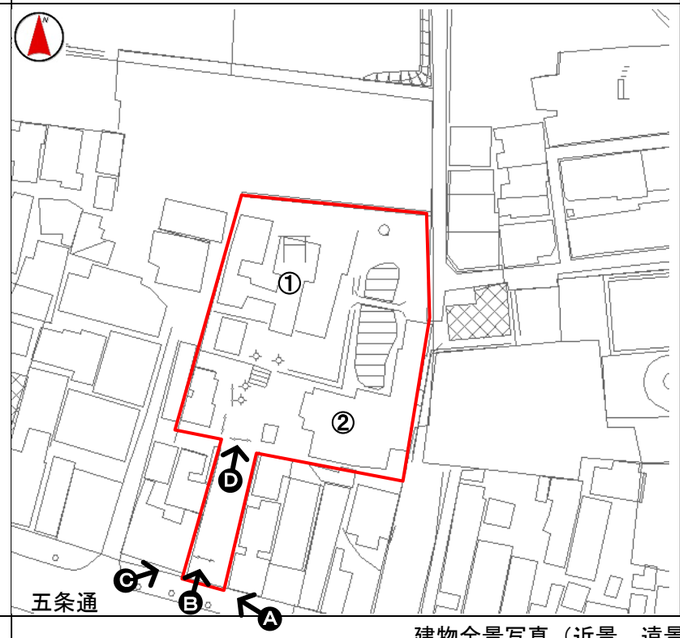
寺社 No.256（ID. 東 J017 ）	名称：若宮八幡宮	担当者：稲沢	調査日：平成 26 年 12 月 5 日

所　在　地	東山区五条橋東 5 丁目 480	
敷 地 面 積	2712.1　㎡	
現適用制度	用途地域	近隣商業地域・商業地域
	防火・準防火	防火地域・準防火地域
	高度地区	15m 第 3 種高度地区 20m 第 4 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区 沿道型美観形成地区(幹線地区)
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	当初は六条醒ヶ井にあり，源頼義（八幡太郎義家の父）が八幡の若宮として祀ったものと伝えられている。 室町時代には足利歴代将軍の崇敬を集め隆盛を極めた。しかし，応仁の乱により社殿は荒廃し，以後社地も転々とし，慶長 10 年（1605）この地に移った。 現在の社殿は承応 3 年（1654）に再建されたもの。	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿，木造，1 階

②社務所，木造，1 階

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

C

D

建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
	・五条通から奥まった所に境内があり，樹木に囲まれている。 ・その樹木は，五条通からも視認できる。 ・周辺は木造家屋が多い。

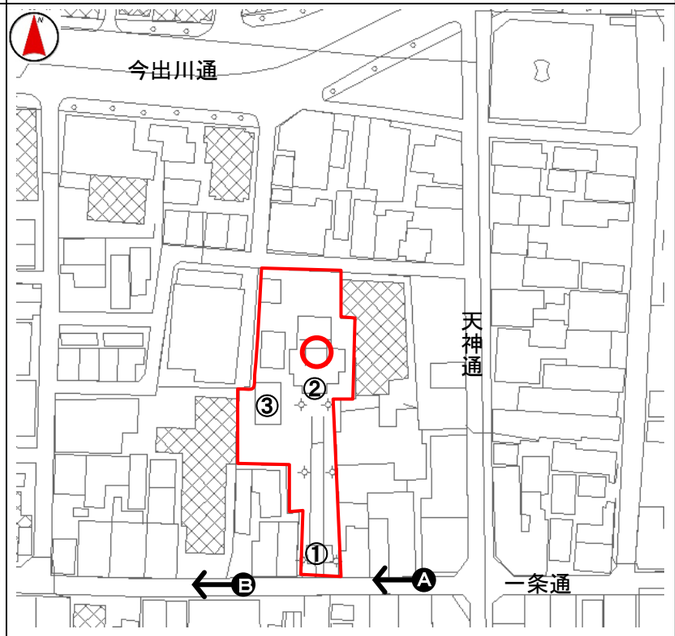
景観重要建造物等の調査票

寺社 No.439（ID. 上 J052）	名称：大将軍八神社	担当者：安野	調査日：平成 26 年 9 月 30 日

所在地	上京区一条御前西入 3 西 55	
敷地面積	1322.0 ㎡	
現適用制度	用途地域	近隣商業地域 第一種住居地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 2 種高度地区 15m 第 3 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	延暦 13 年（764 年）方位守護の神として内裏の北西角（陰陽道の天門）に大和國春日から勧請された。以降、方位の災厄から守護をしてくれる神としての信仰が篤かった。はじめは大将軍堂と称されていたが、応仁の乱以後に神社として復興した。暦神の八神と素盞嗚尊の御子八神とが習合し、大将軍八神宮とされた。	

位置図（都市計画図）

平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①

②

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

建物個々で気の付いた点

周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等

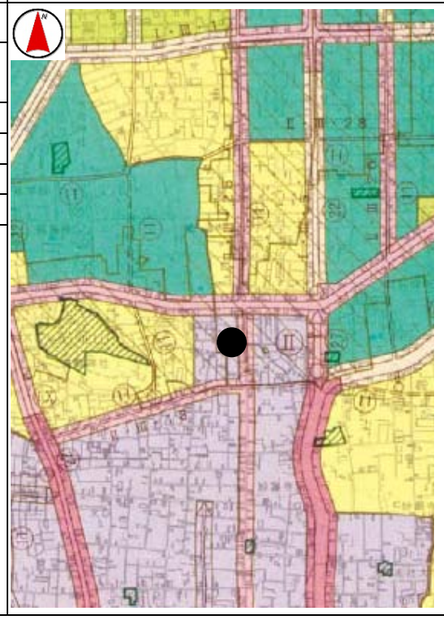
・境内林の間から隣接する建物が見える。
・周囲には京町家が多く見られる。

景観重要建造物等の調査票

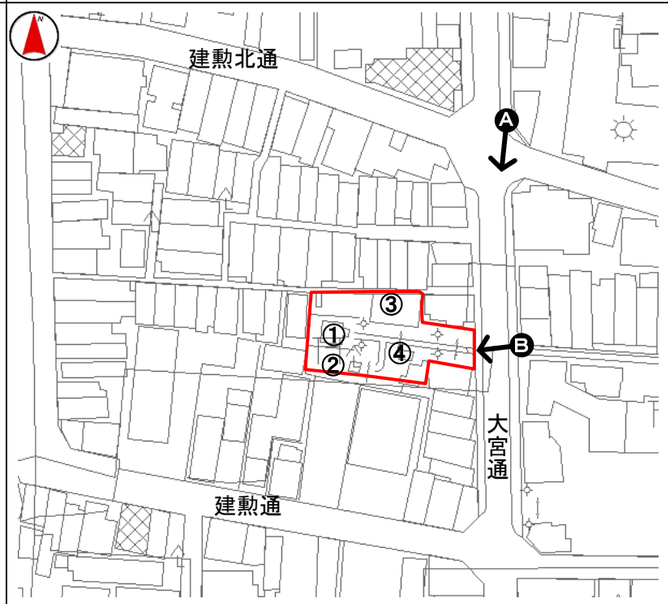
寺社 No.566（ID. 北 J042）	名称：若宮神社	担当者：杉本	調査日：平成 26 年 10 月 31 日

所　在　地	北区紫野雲林院町	
敷 地 面 積	618.9 ㎡	
現適用制度	用途地域	近隣商業地域 準工業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m 第 3 種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	―
系譜，歴史性（謂れ等）	石清水八幡宮を本宮とする若宮。源頼光の邸内にあった鎮守社がその起こり。『山州名跡志』には「竹林内にあって社殿は南向き，今猶，南に亘る東西の条に横若宮町と云う。その南，南北に亘り竪若宮町と云う也」と記され，今でも若宮横町・若宮竪町などが若宮組氏子を構成している。明治初年に氏子の嘆願で廃社を免れ，昭和５年の区画整理で社殿を東向きに建て直した。境内の東南に旧殿があってこの旧社地に「落星水」という井戸があったが，今は無くなっている。元慶２年神職星野茂光が神霊を勧請するにあたり箭を空中に向かって放つと， 忽然と三つの星が落ちてきて袖の中に消えたといい，この霊験によってここを流星坊というと伝えられている。 http://kaiyu.omiki.com/wakamiya/wakamiya.html より	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①本殿正面　木造１階

①本殿　木造１階

②摂社　木造１階

③社務所　木造１階

④手水舎　木造１階

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

A

B

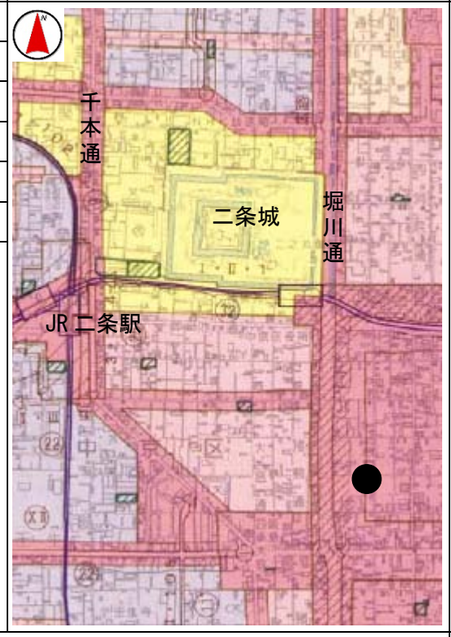
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
建物，境内内の樹木は良好に管理されている。	・遠景としては，鳥居・石柱を視認することができる。町並み景観の中では，間口が小さいためか特に目立たない。

景観重要建造物等の調査票

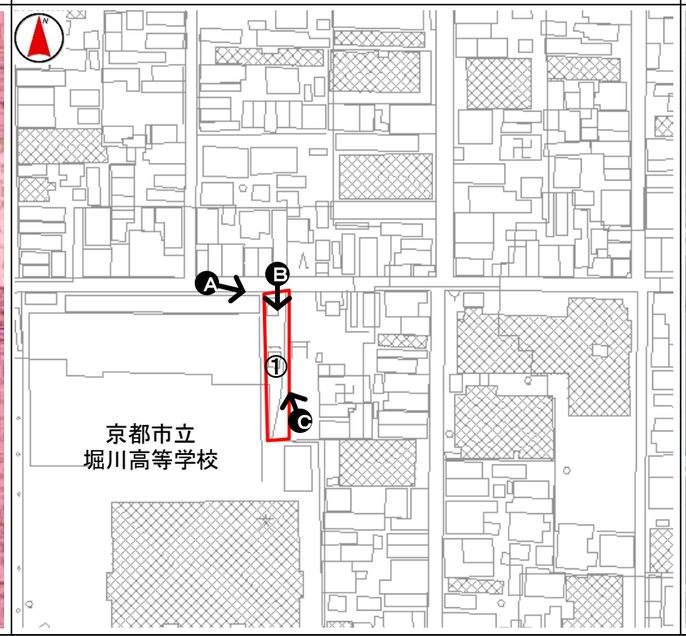
寺社 No.610（ID.中 J020）	名称：龍田稲荷神社	担当者：辻	調査日：平成 26 年 9 月 12 日

所在地	中京区亀屋町（蛸薬師通）	
敷地面積	290.5 ㎡	
現適用制度	用途地域	商業地域
	防火・準防火	準防火地域
	高度地区	15m第４種高度地区
	景観計画	旧市街地型美観地区
	風致地区	－
系譜，歴史性（謂れ等）	元和元年，藤堂高虎がこの地に京屋敷を構え，津藩邸として明治３年まで存続した。藩邸内に祀られていた藤堂稲荷（民部稲荷）が藩邸廃止後に残り，亀屋町にあった龍田稲荷と，坊門四条町にあった御福稲荷を合祀し，現在の龍田稲荷神社となった。	

位置図（都市計画図）



平面図（写真撮影位置図）



航空写真

主な建物個々の写真（番号，用途，構造，階数）

①覆屋，木造，１階

②

③

④

⑤

⑥

建物全景写真（近景，遠景（周辺の町並みを含む））

建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況，その他特筆すべき事項等
・本殿は覆屋で覆われている。覆屋東側の庇がトタン屋根。	・間口が狭く，確認しにくい。 ・本殿は覆屋で覆われ，確認できない。 ・光勝寺駐車場からは本殿の後ろ側が見える（写真Ｃ）。